

東京書籍教材系統表

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと(説明文)	読むこと(文学)	学習用語
1年	<p>話を聞いて伝える『こえのゆうびんやさん』</p> <ul style="list-style-type: none"> 声の大きさに気をつける。 指示を正しく聞き取って他の人に伝える <p>様子を話す『はなしたいなききたいな』</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したい出来事を選ぶ。 グループ全員に聞こえる声の大きさではっきりと話す。 話を聞いて感想を述べたり質問したりする。 	<p>したことを短く書く『よんでねきいてね』</p> <ul style="list-style-type: none"> したことを1～2文で書く。 語と語の続き方に注意しながら文を書く。 <p>伝えたいことを選んでかく『こんなことしたよ』</p> <ul style="list-style-type: none"> したことを題名をつけて文章に書く。 経験したことの中から家の人に伝えたいことをえらび、つながりのある文章を書く。 <p>したことを絵日記にかく『えにつきをかこう』</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな出来事か伝わるように絵と合った日記を書く。 <p>会話をに入れて書く『思いだして書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> したことを思い出して会話をに入れて文章に書く。 	<p>正しく読む『どうやって身をまもるのかな』</p> <ul style="list-style-type: none"> 題名や挿絵とつないで全文を読み、内容の大体をとらえ、全体を四つのもたまりに分ける。 書かれていることを順序に気を付けながら正しく読み取る。 <p>【正確に読み取る】</p>	<p>お話を楽しく読む『かいがら』</p> <ul style="list-style-type: none"> だれが出てくるかをとらえて読む。 語のまとまりに気をつけて音読する。 <p>様子を想像しながら読む『おおきなかぶ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 動作化などをして想像を広げる。 お話のおもしろさを楽しんで読む。 語のまとまりや繰り返しの表現に気をつけながら音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> *「」かぎ *文 *、。 *ひらがな
1年	<p>はっきり話したり聞いたりする『「すきなもののクイズ」をしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> はっきり話してしっかり聞く。(二人組になって質問をし答える)【対話】 友達に伝えたいことをクイズにする。 クイズのヒントを相手に伝わるようにはっきりと話したり分からないことを質問したりして話題に沿って話し合う。 <p>人に正しく伝える『きいてつたえよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> だいなことを落とさないように注意深く聞く。 聞いたことをはっきりした発音で友達に伝える。 <p>仕組みを説明する『「じゃんけんやさん」をひらこう』</p> <ul style="list-style-type: none"> じゅんじょに気をつけて分かりやすく説明する。 考えたことを分かりやすく対話で説明する。 	<p>様子をよく見て書く『わたしのはつけん』</p> <ul style="list-style-type: none"> ようすをよく見て記録の文章を書く。 <p>【記録文】</p> <p>経験したことを思い出して書く『じゅんじょよく書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験したことを思い出して順序に沿って書く。 <p>【生活感想文を書く】</p> <p>想像したことを書く『ことばあそびをしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな言葉を使って言葉遊びをする。 <p>【言葉遊びの創作】</p> <p>出来事を文章に表す『たのしかったね、一年生』</p> <ul style="list-style-type: none"> 一年間を振りかえり新一年生に伝えた事を書く。 <p>【カード】</p>	<p>説明的文章を読む『いろいろなふね』</p> <ul style="list-style-type: none"> 書いてあることを順序に気を付けて読み取る。 役目とつくりを表す大事な言葉を見付けながら読む。 他の乗り物について本で調べ簡単な文章と絵でまとめる。 <p>【正確に読み取る】</p> <p>【情報を収集して活用する】</p> <p>比べながら読む『歯が抜けたらどうするの』</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国のやり方を比べて、自分ならどうするかを考えながら読む。 <p>【多面的なものの見方や考え方を身につける】</p>	<p>お話を楽しく『サラダでげんき』</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物が登場する順序や行動に着目し場面の様子について想像しながら読む。 <p>【読みとる(読解)】</p> <p>いろいろなお話を読む『おとうとねずみチロ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ようすを思いうかべながら読む。 読みたい本を選び、楽しんで読む。 <p>音読発表をする『花いっぱいになあれ』</p> <ul style="list-style-type: none"> お話のすきなところを選んで、声に出して読む。 <p>【読み取る(読解)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> *かたかな *のぼずしるし(一) *つまる音(っ) *ほんたいのことば *なかまになる漢字 *まとめて言うことば *むかし話
	<p>話して説明する『ことばで絵をつたえよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに、何について話すかを言う。 じゅんじょを表すことばを使う。 様子がよく分かるように、形や場所、大きさなどを話す。 絵について、かき方を順序よく説明する。 <p>大事なことを落とさずに聞く『まよい犬をさがせ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ようすを思いうかべながら聞く。 メモには、大事なことを短いことばで書く。 話を聞いて分からなかったことは聞き返す。 	<p>感想を書く『お話カードを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 読んだ本についての記録と簡単な紹介文を書く。 <p>【読書記録(お話カード)】</p> <p>【感想文】</p> <p>かんさつしたことを書く『よく見て書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物を観察しカードに書く。 色、形、大きさを書く。 書き方をくふうする。(にているものをつかって書く、数をつかって書く。) <p>【記録文(観察カード)】</p> <p>じゅんじょをかんがえて書く『できるようになったよ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 順序を考えて書く。 はじめ—なか—終わり <p>【生活感想文】</p>	<p>説明の文章を読む『たんぼぼ』</p> <ul style="list-style-type: none"> じゅんじょに気をつけて読み取る。 くりかえし出てくる言葉に気をつけて読む。 何がどんなじゅんじょで書かれているか、考えながら読む。 <p>【正確に読み取る】</p>	<p>物語を音読する『かくれんぼ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 口を大きくあけて声を出す。 せすじをのぼして、おなかから声を出す。 丸(。)や点(・)に気をつけて読む。 はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。 <p>【声に出して読む】</p> <p>お話を読む『お手紙』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。 <p>【お話を読む】</p>	<ul style="list-style-type: none"> *声に出して読む *せつめいの文しよう *じゅんじょを表す言葉(はじめに、つぎに、それから、さいごに) *画数 *場面 *人物
2年	<p>みんなの前で話す『話したいな、とくいなこと』</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したいことをじゅんじょよく話す。 教室の後ろの人にも聞こえるように声の大きさを考えて話す。 早口にならないように気をつける。 <p>話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す人を見て聞く。 くわしく知りたいことをすすんでたずねる。 <p>よく聞きながら話し合う『聞き合おう、みんなのたからもの』</p> <ul style="list-style-type: none"> 話を聞くときはうなづいたりあいづちをうったりする。 自分のこととくらべながら聞く。 自分の感想を言ってから知りたいことをたずねる。 たずねたことのことえをよく聞く。 ほかの人がたずねたこともよく聞く。 	<p>詩を書く『かんじたことを』</p> <ul style="list-style-type: none"> 感じた事や思った事を詩に書く。 <p>【詩】</p> <p>手紙を書く『「ありがとう」を伝えよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを手紙に書く。 <p>【手紙】</p> <p>想像を広げてお話を書く『絵を見てお話を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> あいての名前と自分の名前をわすれずに書く。 自分のつたえたいことを書く。 相手が読みやすいように字の形に気をつけていねいに書く。 <p>【物語】</p> <p>説明する文章を書く『二年一組、はつ名じむしょ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な道具を説明する文章や発明品を紹介する文章を書く。 <p>【説明文(カード)】【紹介文(紹介カード)】</p>	<p>違いを考えて読む『ふろしきは、どんなぬの』</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つのせつめいの文をくらべてちがいを考える。形式による書き表し方の違いをとらえる。 <p>【比べ読みををして表現の工夫を読み取る】</p> <p>本で調べる『ビーバーの大工事』</p> <ul style="list-style-type: none"> 大事な言葉を探しながら順序に気をつけて読み取る。 知りたいことを本で調べる時には関係のある大事なことばに気をつけて読む。 <p>【情報を収集して活用する】</p>	<p>様子や気持ちを読む『名前を見てちょうだい』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面に気をつけて、人物のようすや気持ちを読む。 どんな人物が出てきてどんなことをしたかを、考えながら読む。 <p>【読み深める(読解)】</p> <p>昔話を読む『かさこじぞう』</p> <ul style="list-style-type: none"> おもしろさを見つけながら、むかし話を読む。 <p>【読み広げる(読書)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> *メモ *組み合わせた言葉 *説明 *質問と答え *じゅんじょを考えて書く(はじめ、なか、おわり) *手紙 *神話 *話し合い *主語、述語 *原稿用紙の使い方
	<p>分かりやすく説明する『おもちゃまつりへようこそ』</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに、何について説明するのかを言う。 聞く人に分かりやすい言い方を考え、分かったかどうか確かめながら話す。 話のまとまりごとにくぎって話す。 	<p>わけを書く『考えたわけを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を見て、考えたこととそう考えたわけを書こう。 <p>【わけを書く】</p> <p>文集を作る『「思い出ブック」を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに書いた文章や詩を読み返す。一年間の思い出を文章に書き、まとめる。 <p>【文集】</p>	<p>順序に気を付けて正しく読む『虫は道具をもっている』</p> <ul style="list-style-type: none"> 似ているところとちがうところに注意して読む。 <p>【多面的なものの見方や考え方を身につける】</p>	<p>〇読み取ったことを表現する</p> <p>『「ニャーゴ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面に気をつけて、読みとった人物のようすや気持ちがつたわるように紙ばいをする。 <p>【読解して表現活動をおこなう】</p>	<ul style="list-style-type: none"> *昔話 *わけ *説明

<p>理由をはっきりさせて話す『えらんだ理由を話そう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 理由を表す言葉を使う。 はじめに理由がいくつあるかを言って、順序だてて話す。 理由はなるべくたくさん考える。 <p>【理由】</p> <p>話を聞いてメモをとる『話を聞いてメモを取ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめに何の話なのかを聞く。 だいたいなことだけを短い言葉で書く。 まとまりごとに見出しをつける。 ことがらに番号をつけて分かりやすくする。 聞いた話について質問する。 <p>【メモのとりかた】</p>	<p>書くことのざいりょうを集める『自分をしようかいしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分についてメモを使って題材を探し、短い文章を書く。 書くことのざいりょうを集める。 メモを使っていろいろな見方で考える。 <p>【紹介文】</p> <p>観察したことを書く『かんさつしたことを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> かんさつしたことを事柄ごとに整理して書く。 <p>【記録文(学習ノート)】</p>	<p>だん落の内ようをとらえる『自然のかくし絵』</p> <ul style="list-style-type: none"> 段落ごとの内容をとらえながら読み取る。 段落の内容をとらえる時は、くりかえし出てくる言葉や題名とつながりがあると思う言葉に気をつけて読む。 <p>【正確に読み取る】</p> <p>文章を読み比べる『「ほけんだより」を読み比べよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの文章を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いをとらえる。 <p>【比べ読みをして表現の工夫を読み取る】</p>	<p>物語を音読する『すいせんのラッパ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や気持ちが伝わるように、音読する。 声の大きさ、声の高さ、読む速さに気をつける。 <p>【物語を音読する】</p> <p>物語のあらすじをまとめる『ゆうすげ村の小さな旅館』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとに時、場所、人物をおさえる。 大事な出来事をおとさないようにする。 <p>【読み取る(読解)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 音読 * 国語辞典の使い方 * 清音、濁音、半濁音 * 段落 * 理由 * あらすじ * 部首 * 慣用句
<p>スピーチをする『話したいな、夏休みの出来事』</p> <ul style="list-style-type: none"> 順序よくすじ道を立てて話す。 聞く人をよく見て話が伝わっているかたしかめながら話す。 話のまとまりごとに間をとったりだいたいな言葉は少し大きな声で言ったりするなど分かりやすく伝えるための工夫をする。 <p>スピーチを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のことと比べながら聞く。 話す人の顔を見てうなずきながら聞く。 <p>【スピーチをする】【スピーチを聞く】</p> <p>話し合いをする『こちら、子ども相談室』</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたことを話すときは理由も合わせて言う。 分からない事やもっとくわしく知りたいことがあれば進んで質問をする。 聞くときはその人が伝えたいことはどんなことなのか、どんな気持ちで言っているのかなどを考えながら聞く。 司会の前段階として進行役を設ける。 	<p>書くことをえらぶ『心にのこったことを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番伝えたいことを考え大事なことを選ぶ。 一番伝えたいことをくわしくするために役立つもの、落としてはいけないものを選ぶ。 <p>【生活感想文】</p> <p>案内の手紙を書く『案内の手紙を書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな行事なのかを書く。 大事なことを落とさないように書く。 (日にち、時こく、場所、用意するものなど) 来てほしいという気持ちが伝わるように書く。 字のまちがいや言葉の使い方におかしなところがないか見直す。 <p>【案内の手紙】</p> <p>想像を広げて書く『お話を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図を手掛かりに想像し場面を考えてお話を書く。 <p>【物語】</p> <p>研究レポートを書く『研究レポートを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 「調べたこと、理由」「分かったこと」「感想」に分けて書く。 分かったことを正しく書く。 (ものや人の名前、数字をまちがえない)(どのような調べ方で分かったことなのかを書く) <p>【調査報告文(研究レポート)】</p>	<p>要約する『もうどう犬の訓練』</p> <ul style="list-style-type: none"> 大事な言葉や文に注意して内容を短くまとめながら読み取る。 <p>【要約】</p> <p>【情報を収集して活用する】</p>	<p>人物の気持ちの変化を考える『サーカスのライオン』</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動会話など人物の様子や気持ちが表れている言葉に気をつける。 場面ごとに人物の気持ちをとらえ、物語全体を通して、人物の気持ちがどのように変化していったかを考える。 <p>【読み深める(読解)】</p> <p>民話を読む『木かげにごろり』</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。 <p>【読み広げる(読書)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 案内の手紙 * ローマ字 * 気持ちの変化 * こそあど言葉 * 要約 * レポート * 民話 * スピーチ
<p>調べたことを発表する『わたしたちの町の行事をしようかいしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体のことから細かい部分のことをじゅんじょよく説明する。 数字やもの名前などを正しく話す。 分かりにくい言葉は説明する。 資料を見せる時には見せ方を考えたり見るための時間を取ったりする。 	<p>くらべて書く『くらべて分かったことを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つのものを比べて同じところとちがうところを整理して書く。 何のなかまか、色、形、大きさ、数、どんな役わりがあるかを比べる。 くらべる点を自分でもさがしてみる。 同じところとちがうところをそれぞれ整理して書く。 <p>作品集を作る『「わたしの作品集」を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに自分の書いた文章を読んで学習を振り返り作品集を作る。 <p>【個人文集】</p>	<p>段落ごとに内容をとらえて読む『家をつつむ形』</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章だけでなく絵や写真にも注意して読む。 <p>【多面的なものの見方や考え方を身につける】</p>	<p>叙述を基に想像して読む『手ぶくろを買いに』</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み取ったことをもとに音読発表会をする。 <p>【読解して表現活動を行う】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 俳句 * たとえ * 目次 * さくいん * インタビュー
<p>案内をする『案内係になろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が知りたいことはどんなことか正しく聞き取る。 相手が知りたいことに答えるにはどんなことを話したらよいか考える。 相手が分かったかどうか確かめながら話す。 <p>【案内をする】</p> <p>聞く時のメモをくふうする『メモの取り方をくふうして聞こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせてひつようなことだけを書く。 順序や理由を表す言葉に注意する。 記号や図、絵などを使ってよい。 	<p>気持ちが伝わるように書く『心の動きを文章に書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 出来事の中で大きく心が動いたところをくわしく書く。 気持ちを表す言葉でくふうする。 感動が伝わるように書く。 <p>【生活体験をもとにした短文文】</p> <p>出来事を書いて伝える『わたしが選んだ今月のニュース』</p> <ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、だれが、どうしたに気をつけて章を書く。 自分がしたこと、見たことを書く。 ほかの人がしたこと、見たこと、思ったことを聞いて書く。 <p>【生活体験をもとにした短文文】</p>	<p>段落結びつきを考える『ヤドカリとイソギンチャク』</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのまとまりに何が書かれているかを読む。 まとまりどうしがどのように結びついているかをつかむ。 まとまりは段落が集まってきているので、それぞれの段落に何がかいてあるかを考える。 <p>【正確に読み取る】</p> <p>読み比べをする『広告と説明書を読み比べよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告のちらしと取扱い説明書を読み比べ目的による表し方の違いや述べ方の工夫をとらえる。 <p>【比べ読みをして表現の工夫を読み取る】</p>	<p>物語をくふうして音読する『こわれた千の楽器』</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、くふうして音読する。 (声の大きさ、声の高さ、読む速さ、強調するところ、間の取り方) <p>【物語を工夫して音読する】</p> <p>中心となる人物に気をつける『走れ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心となる人物に気をつけて、様子や気持ちを考えながら読む。 場面ごとに中心となる人物の気持ちをおさえる。 物語全体を通して中心となる人物の気持ちが一番大きく変わったのはどの場面かを考える。 中心となる人物の気持ちがどのように、またどうして変化したのかを考える。 <p>【読み取る(読解)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 暗唱 * 図書館の使い方 * 音読み、訓読み * 文章構成 * 問いかけ * 話題 * 案内 * 漢字辞典 * 広告、説明書 * ことわざ * 中心人物

<p>スピーチをする『今の自分』を話します』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことをはっきりさせ、材料を選んで話す。 ・理由や具体例も合わせて話す。 ・大事な言葉は強調して話す。 ・大事な言葉の前後や話の区切りなどでは間を取って話す。 <p>スピーチを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す人が一番伝えたいことは何か考えながら聞く。 ・自分と比べながら聞き同じだと感じたことや、ちがうなと思ったことをもとに、感想を伝え合う。 <p>【スピーチをする】【スピーチを聞く】</p> <p>話し合いの司会をする『みんなで話し合っ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに話し合いの目的をはっきりさせて進め方を確かめる。 ・一部の人にかたよらないように多くの人から意見を出してもらう。 ・話し合いのとちゅうでそれまでに出た意見を整理する。いろいろな意見の同じところやちがうところに注意する。 <p>【話し合いの司会】</p>	<p>書くことがらを整理する『わたしの考えたこと』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことは何かを考え、書くことの内容を整理する。 ・自分が経験したことや出来事など、自分が経験したことを分ける。 ・自分の考えとそう考えた理由をはっきりさせて書く。 <p>【生活感想・意見文】</p> <p>手紙を書く『お願いやお礼の手紙を書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙の目的に合わせて書くことを選ぶ。 ・手紙の形式に気をつける。 ・気持ちがよく伝わるように考えて書く。 ・相手に対して、ていねいな言葉の使い方をする。 ・まちがいがいかどうか出す前に見直す。 <p>【手紙】</p> <p>友達と一緒に詩を作る『連詩にちょうせんしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉から想像を広げてグループで詩を書き、鑑賞する。 <p>【詩】</p> <p>新聞を作る『みんなで新聞を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わりつけをくふうする ・分かりやすい記事を書く ・出来事のだいたいなことを落とさないように書く ・数や名前を正しく書く ・伝えたいことを分かりやすく写真や図など資料を取り入れてよい。 ・読む人の興味をひくような見出しをつける。 <p>【調査報告文(学級新聞)】</p>	<p>引用をする『くらしの中の和と洋』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の文章と区別するため、引用した部分を「 」などで示す。 ・かぎでしめすときは、元の文や言葉を書きかえない。 ・本の名前や本を書いた人の名前、引用する部分のがのっていたページなどが分かるようにする。 ・まとまりごとに内容を考えながら読み取る。生活の中の文化について調べ短い文章にまとめる。 <p>【引用する】 【情報を収集して活用する】</p>	<p>人物の立場から物語を読む『ごんぎつね』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる人物がだれかを確かめる。 ・その人物になったつもりで物語を読んでみる。 ・行動や様子、気持ちなどを手掛かりに書かれていない気持ちについても想像する。 ・場面のうつり変わりに気をつけて、人物の気持ちの変化をとらえる。 <p>【読み深める(読解)】</p> <p>テーマ読書をする『世界一美しいぼくの村』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族やふるさとを思う心をえがいた、いろいろな本を読む。 <p>【読み広げる(読書)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * お願いの手紙、お礼の手紙 * 文末 * 連詩 * 修飾語 * 引用 * 司会 * 新聞 * 文と文をつなぐ言葉
<p>ポスター発表をする『報告します、みんなの生活』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人の様子を見て話が伝わっているかを確かめながら話す。 ・ポスターの見てほしい部分を指しながら説明する。 ・話す速さや間を考えて聞く人がポスターを見るための時間を取る。 ・アンケートをとって調べたことをポスターにまとめてグループで報告する。 <p>【ポスター発表】</p>	<p>目的と形式を考えて書く『目的に合わせて書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことに合わせて資料を選び文章を書く。 ・書く目的を考えて書く。 ・新聞やポスター、学習ノート、カードなど書くものの形式によって、書く分量と書き方をくふうして目的や形式に合わせて書く。 <p>文集にまとめる『「十才のわたし」文集を作ろう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み返したり未来の自分を想像して文章を書いたりして冊子にまとめる。 <p>【個人文集】</p>	<p>筆者の考えを読み取る『ゆめのロボット』をつくる』</p> <p>筆者の考えがどんな言葉で表わされているかに注意して読む。</p> <p>【多面的なものの見方や考え方を身につける】</p>	<p>音読劇をする『木竜うるし(人形劇)』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、くふうして音読劇をする。 <p>【読解して表現活動を行う】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 百人一首 * ポスター * アンケート
<p>人物をすいせんする『ゲストティーチャーをすいせんしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その人のことをよく理解して人物のよさを伝える。 ・すいせんする理由を話す。(持っている技術や知識について、これまでの実績や経験について、人からについて) ・具体的なエピソードを話す。 <p>【人物を推薦する】</p> <p>意見とその理由を正しく聞き取る『意見とその理由を聞き取るう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を正しく理解する。 ・理由が意見に対してふさわしいかを考える。(話題からそれていないか、かたよった見方になっていないか、内容に食いちがいはないか) ・自分の意見と比べながら聞く。 	<p>メモを使って考えを広げる『メモを使って題材をさがそう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連想メモ」である一つの言葉からたくさん言葉やことがらを思いうかべて書き出しそれを題材さがしに役立てる。 ・ある言葉から連想を広げ書く題材を探して短い文章を書く。 <p>【生活体験をもとにした短作文】</p> <p>賛成、反対の立場から意見文を書く『立場を明確にして書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場を明確にして書く。(問題について賛成か反対か立場を明確にする) ・読む人に自分の意見が伝わるように書く。(意見の理由を示す、理由がいくつああるときは整理する、具体的な例を挙げる) ・事実と自分の意見を区別して書く。 <p>【意見文】</p>	<p>説明文の要旨をとらえる『動物の体と気候』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明文で、筆者の述べたいことの中心を要旨という。 ・要旨をとらえるには、それぞれの段落やまとまりごとにどのようなことが書かれているか整理しまとめていく。 ・段落やまとまりが文章全体の中でどのような働きをしているかを考える。 <p>【正確に読み取る】</p> <p>新聞を比べ読みする『新聞記事を読み比べる』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図によって記事の内容や写真が変わることをとらえる。 <p>【比べ読みをして表現の工夫を読み取る】</p>	<p>朗読をする『だいじょうぶ だいじょうぶ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、声に出して読む。 <p>【音読】</p> <p>物語の構成をとらえる『世界でいちばんやかましい音』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設定」「展開」「山場」「結末」の部分確かめて、物語の構成をとらえる。 <p>【読み取る(読解)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 朗読 * 文章構成図 * 要旨 * 人物をすいせんする * 漢字の由来 * 物語の構成(設定、展開、山場、結末) * 熟語の構成 * 意見文
<p>パネル討論をする『パネル討論しよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を述べるときは、立場をはっきりさせて理由と具体例を合わせて話す。 ・自分の意見の良い点だけでなく、問題点にもふれ、どう解決するか述べる。 ・ほかの人の意見に対しては内容だけでなくもとになった考えも理解するつもりで聞く。 <p>5年</p> <p>討論は考えを深め合うことが目的なので最初の意見を変えてもよい。</p> <p>【パネル討論をする】</p> <p>発表の方法をくふうする『気持ちを伝える言葉について考えよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や目的に合わせて、どのような方法がふさわしいか考えて工夫する。 	<p>資料を生かして文章を書く『資料を読んで考えたことを書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題やキャプションから何についての資料か読み取る。 ・グラフや表を読むときは、数や量が大きく変化しているところやほかとちがうところなどに着目する。 ・文章を引用する場合は「 」に入れて書く。 ・資料にのっていた名前や数は正確に書く。 ・どの資料から分かったことなのかがはっきりするように資料の名前を書く。 ・資料を生かして自分の考えたことが伝わるように書く。 <p>物語を書く『ふしぎな世界へ出かけよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成を考えて筋道の通った物語を書く。(どこで、だれが、どうする) ・場面の情景が伝わるように会話や行動などをくわくするなど表現を工夫する。 ・読む人の興味をひくような題名を付ける。 <p>【物語を書く】</p>	<p>調べるときの本の読み方『森林のおくりもの』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、目次やさくいんを見て知りたいことが書かているところを見つける。 ・目次やさくいんで分からないときは、小見出しや手掛かりとなる言葉に気をつけて速く大まかに読みながら知りたいことが書かれているところをさがす。 ・知りたいことが書かれているところが見つかったら、その部分をていねいに読む。 <p>【情報を収集して活用する】</p>	<p>物語のおもしろさを考えて読む『注文の多い料理店』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のような点に着目する。構成や表現のくふうに目を向けて、物語を味わう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 構成や展開 2 登場する人物の人から、行動や心の動き 3 会話文 4 語り口調 5 題名の付け方や題名にこめられた意味 <p>【読み深める(読解)】</p> <p>読書の幅を広げる『大造じいさんとがん』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。 <p>【読み広げる(読書)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * パネル討論 * 方言と共通語 * 敬語(尊敬語、けんじょう語、ていねい語)
<p>スピーチをする『わたしの「とっておきの一枚」』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人に様子や気持ちが伝わるようにエピソードは具体的に話す。 ・組み立てや強調したいことに合わせて声の大きさや話す速さ、間の取り方などをくふうする。 <p>スピーチを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す人の気持ちを想像しながら聞く。 ・自分の経験と重ねたり考えと比べたりしながら聞く。 <p>話し手の思いをとらえながら聞く。</p> <p>【スピーチをする】【スピーチを聞く】</p>	<p>活動報告を書く『伝えよう、委員会活動』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えなければならない内容や読む人が知りたいと思う内容を整理して書く(活動日や活動場所、活動内容、活動の成果など) ・キャッチフレーズや見出しを使って分かりやすくする。 ・グラフや写真を取り入れて文章だけでは伝わりにくいことをおぎなう。 <p>【活動報告文(リーフレット)】</p>	<p>読み取って自分の考えを書く『テレビとの付き合い方』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例と意見との関係に注意して、筆者の考えを読み取る。 <p>【多面的なものの見方や考え方を身につける】</p>	<p>伝記を読む『手塚治虫』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝記を読み、人物の考えや生き方について考えてみる。 <p>【読解して表現活動を行う】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 古文 * 活動報告文 * 伝記 * 著作権と引用

<p>聞き手の印象に残るように話す『学校の良さを宣伝しよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例を取り入れる。 ・ものごとに対する見方を変えて新しい見方を示す。 ・伝えたいことを簡潔に示したキャッチフレーズを取り入れる。 <p>【聞き手の印象に残る話し方】</p> <p>複数の意見を聞き分ける『意見を聞き分けよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目的を理解しておく。 ・それぞれの意見の大事なところを聞き取る。 ・複数の意見の共通点と相違点を聞き分ける。 	<p>表現をくふうして書く『表現を工夫して書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩や俳句、短歌などを書くときや生活の中の出来事を文章に書くときは表現をくふうすると読む人に分かりやすく、いきいきと伝えることができる。 ・表現例→あるものを何かにたとえる、同じ言葉をくり返す、言葉の順序をいれかえる。 <p>【詩(短歌、俳句)】</p> <p>意見文を書く『「わたしの意見」を書こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を明確にして書く。 ・意見の理由や根拠はほかの人にも納得してもらえるようなものを挙げる。(自分が経験した出来事、問題について調べて分かったこと、予想される反対意見と、それに対する反論) ・書く事柄を整理し、構成を考えて意見文を書く。 <p>【意見文】</p>	<p>自分の考えを明確にしながら読む『イースター島にはなぜ森林がないのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者はどのような感想や意見を述べているか、どのような判断や主張をしているかに気をつけて読む。 ・筆者はどのような事実を具体例として挙げて理由や根拠にしているかを読み取る。 ・書かれていることについて自分の知識や経験などと結びつけながら読む。 <p>【正確に読み取る】</p> <p>新聞の投書を比べ読みする『新聞の投書を読み比べよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を説得するための根拠の挙げ方をとらえる。 <p>【比べ読みをして表現の工夫を読み取る】</p>	<p>物語の「語り」をする『風切るつばさ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや読む速さ、強調するところや間の取り方などをくふうする。 ・場所や人物によって口調や表情を変える。 ・視線の配り方に気をつける。 ・必要に応じて、身ぶりや手ぶりを交える。 <p>【物語の「語り」をする】</p> <p>物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える『ばらの谷』</p> <p>※物語が強く語りかけてきたことを考えることでより深く味わうことができる。以下のようなことを手掛かりにして考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成やあらすじ ・中心となる人物の考えや心情、またはそれらの変化 ・情景の変化 ・題名の意味 <p>【読み取る(読解)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 物語の「語り」 * 日本十進分類法 * 熟語の構成 * 万葉仮名 * 漢文 * 漢字仮名交じり文 * 意見文 * 短歌
<p>問題解決のための話し合いの仕方『問題を解決するために話し合おう』</p> <p>※話し合いの進め方を知る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題を確かめる。 2 問題の原因を考える。 3 原因を整理して解決方法を話し合う。 4 意見をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者は具体的な提案をする。 ・ほかの人の意見をきちんと受け止める。 ・反対意見を述べるときは、具体的に別の案を示す。 ・ほかの人の意見が、どのような考えをもとにしたものなのか理解する。 ・司会の役割や参加者の留意点をふまえて問題を解決するための話し合いをする。 <p>資料を使って説明する『深めよう、言葉の世界』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明の順序を考える。 ・話したい内容にふさわしい資料を用意する。 ・聞き手の反応を確かめながら話す。 ・資料やメモばかり見ずに、聞き手を見て話す。 ・聞き手の興味を引きつけるように、資料の示し方や示すタイミングをくふうする。 	<p>資料を活用して書く『資料を活用して書こう』</p> <p>※資料を読み取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題やキャプションから何についての資料かを読み取る。 ・グラフの内容を読み取るときは、次のことに気をつける。 <ol style="list-style-type: none"> 1 大きく変化している点やほかとことなる点に気をつける。 2 円グラフでは割合、棒グラフでは差に注目する。 <p>※資料を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用するときは、伝えたい内容に合った資料を選ぶ。また、資料について説明も加える。 <p>【資料活用、資料の読み取り】</p> <p>俳句や短歌を作る『子ども句会を開こう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して俳句や短歌を作る。 <p>【俳句、短歌】</p>	<p>複数の資料を読み取る『未来に生かす自然のエネルギー』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことについて調べるときは目的や方法に合わせた調べ方を考える。 ・資料や情報源の特徴を知り、適切に活用する。 ・複数の資料から分かることを関係づける。 <p>【情報を収集して活用する】</p>	<p>人物の関係をおさえる『海のいのち』</p> <p>※物語に出てくる人物の関係をおさえて、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる人物を確かめる。 ・行動や会話を手がかりにして、中心となる人物と他の人物がたがいにどのような関わり合っているか、また、たがいにどんな気持ちをもっているかをつかむ。 <p>【読み深める(読解)】</p> <p>関連する本を読み広げる『ヒロシマのうた』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争と人間の生き方を描いた関連本を読み広げる。 <p>【読み広げる(読書)】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 人物の関係図 * 和語、漢語、外来語
<p>経験を基に書いたり話したりする『伝えよう、大切にしたい名言』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名言を集め、自分の経験と関連させて名言集を作ったりスピーチをしたりする。 	<p>形式や資料活用を工夫して書く『ふるさとの良さをしようかいしよう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせて形式を選び資料を活用するなど書き方を工夫してふるさとの良さを紹介する文章を書く。 <p>【紹介文(冊子、新聞)】</p>	<p>関係に注意して読む『豊かな日本語の使い手になろう』</p> <p>「雨のいろいろ」</p> <p>「数え方でみがく日本語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読む。 	<p>自分の思いや考えを伝え合う『君たちに伝えたいこと』『春に』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章と詩を読んで自分の思いや考えを伝え合う。 <p>【読解して表現活動を行う】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 伝統芸能 * 名言

6年